

初期消火は、任せて

高遊原南消防本部で消防大会開催

10月31日、第10回消防大会が高遊原南消防本部（内山丸雄消防長）で開催され、消防関係者や一般の来場者など約500人が訪れました。

この大会は、消火設備等の維持管理の徹底と取り扱い技術の習熟、防火意識の高揚を図るため2年に1回開催されています。

大会では、屋内消火栓を備えた事業所の自衛消防隊が日ごろの訓練の成果を競う「屋内消火栓操法競技」、一般来場者を対象に消火器を使用して、初期消火を実際に体験する「消火訓練」、建物火災と山林火災の併発を想定し、ヘリコプターによる消火活動と同時に2階建て建物から救助者を救助する「消防署員と防災消防航空隊との合同訓練」が行われ、本番さながらの訓練となりました。

また、大災害や緊急時の「炊き出し訓練」として、町婦人防火クラブ（富田セツコ会長）が豚汁とおにぎり500人分を用意。参加者に昼食として振る舞いました。

トラクションもあり、大会に華を添えました。

●屋内消火栓操法競技の成績

（男子12チーム、女子6チーム出場）

【男子の部】

優勝 西原村役場A

準優勝 ナカヤマ精密（株）

3位 西原村役場B

敢闘賞 益城町役場ハッピーイエロー

【女子の部】

優勝 ひろやす荘女子

準優勝 お菓子の香梅と愉快な仲間達

3位 益城町役場ハッピーグリーン

敢闘賞 益城町役場ハッピーブルー



確実な操作と迅速な動作を競う屋内消火栓操法競技

グラウンドまわりをきれいに

シルバー人材センターが清掃奉仕

10月21日、町シルバー人材センターの会員による清掃奉仕が、町民グラウンドまわりで実施されました。これは、同センターが地域に果たす役割を、この活動をとおして広く知ってもらおうと行っているもので、この日は約70人の会員が参加しました。

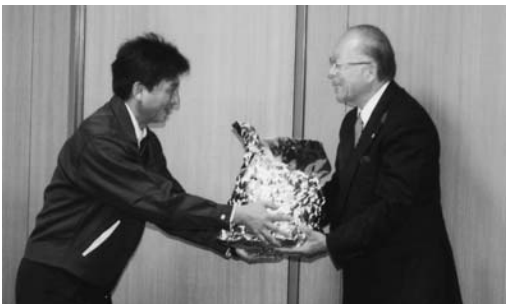
作業前、住永町長が「日ごろの皆さんの活動に深く感謝しています。お世話になります」と激励。会員たちは、刈り払い機や鎌などを使い、除草作業に汗を流しました。

約2時間も経つと、グラウンドまわりは見違えるようにきれいになりました。



町民グラウンドまわりの水路を清掃する会員のみなさん

緑茶のティーバッグを手渡す野口会長（左）



緑茶うがいでインフルエンザ予防

上益城茶業青年会からうがいの茶の贈り物

11月10日、上益城茶業青年会（野口潤二会長）と農協職員計10人が役場を訪れ、町の小学校へうがいの茶を贈りました。

会長の野口さんが「緑茶の成分の1つカテキンに、インフルエンザウィルスの増殖を食い止める力があるのを知り、青年会で何かできないか考えた結果、今回、小学校へうがい用の緑茶を贈ることになりました。子どもたちのために役立ててください」と緑茶を手渡すと、住永町長は「町の各学校でも子どもたちに手洗いうがいを励行していますが、新型インフルエンザには頭を悩まされる。町の子どものために有意義に使わせていただきます」と感謝を述べていました。